

# いき息、いいづか

正常であることの確認  
病変を見つける・病変を疑う



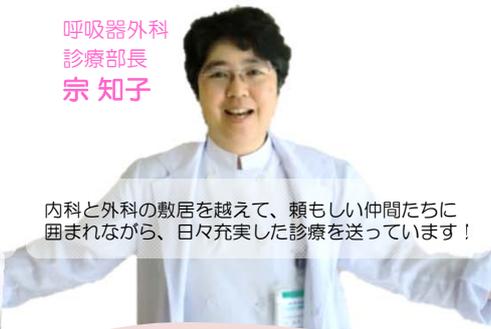
第8回筑豊呼吸器RENKEIの会 大盛況で終わることが出来ました。ご参加いただいた先生方、誠にありがとうございました。

呼吸器内科  
医長代理  
井手 ひろみ



いきいきとした職場で、日々楽しく診療させていただいています。よろしくをお願いします。

呼吸器外科  
診療部長  
宗 知子



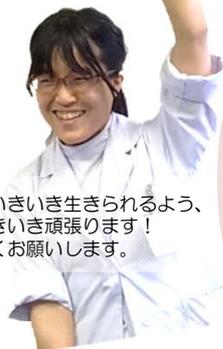
内科と外科の敷居を越えて、頼もしい仲間たちに囲まれながら、日々充実した診療を送っています！

呼吸器内科  
医長代理  
浅地 美奈



患者さんとともに一生懸命頑張っています！喘息外来も行っています。よろしくをお願いします。

呼吸器内科  
医長代理  
吉松 由貴



飯塚の皆様がいきいき生きられるよう、まずは私がいきいき頑張ります！ご指導よろしくをお願いします。

当センターの誇る8名の **女性医師** の皆さん

より一言ずついただきました。

当センターは 女性にも働きやすい環境で

みな当センター男性医師にも引けをとらない

**情熱 と 診療技術** を

持っています！！

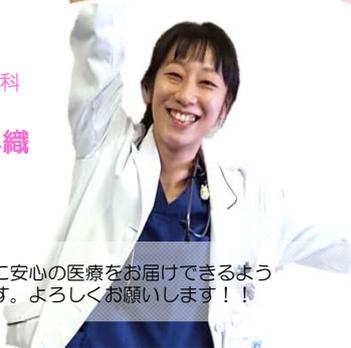
皆で手をつないで輪を作りました。

呼吸器内科  
医長代理  
神 幸希



臨床はもちろん、社会人大学院生としての研究も頑張っています！！

呼吸器内科  
医長代理  
西澤 早織



患者さんに安心の医療をお届けできるよう頑張ります。よろしくをお願いします！！

呼吸器内科  
医長代理  
棟近 幸



いづか に きて3年が経ちましたが、いつまでもきもちの こもった診療を心がけています！

呼吸器内科  
後期研修医  
後藤 夕輝



体力とフットワークの軽さで、先輩たちを見習いながら、精一杯がんばっています！！



霧野 広介  
呼吸器病センター  
呼吸器内科

飯塚病院呼吸器病センター呼吸器内科の霧野(つなの)です。

早いもので、このニュースレターも第3号となります。第1号では「Rapid On-site

Cytology (ROSE)」、第2号では間質性肺炎専門外来のご紹介をさせていただきました。今回は、少し路線を変えて、明日からの日常臨床にもきっと役に立つ“VINDICATE”に関して、お話をさせていただきたいと思います。

もともとの“VINDICATE”の意味は「正当化する」といった意味ですが、それとは全く関係なく、臨床現場で漏れなく鑑別疾患を挙げるためのゴロのようなものなんです。

これを、当科部長の飛野先生が、2月に開催されたJapan Hospitalist Network (JHN) 主催のセミナーでレクチャーするにあたり、お正月の間中、思考をめぐらせ改変し出来上がった「呼吸器診療版VINDICATE」を、本来企業秘密ですが(笑)紹介させていただきますので、ぜひご参考ください!!

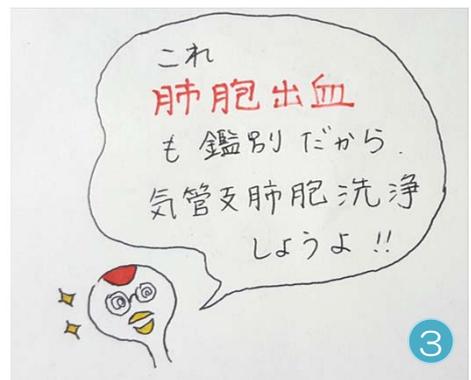
ちなみに、これが特に威力を発揮するのは、原因がよく分からないすりガラス影をみたとき。ウイルス性肺炎に心不全に、もしかしてニューモシスチス肺炎も!?!?!?!はて、あと何を鑑別に挙げよう?!?!?!こんなご経験ありませんか?こんなとき、ぜひ呼吸VINDICATEで網羅的に考えてみてください。そういえば、こんな疾患も鑑別に入れておかなきゃ!という気付きがあるかもしれません。

これはもちろんコンソリデーションにも使えます。肺炎と思っただけど、抗菌薬でよくならないときは、「悪性腫瘍」に「器質化肺炎」、「好酸球性肺炎(特に慢性)」などを必ず鑑別に挙げなければなりません。器質化肺炎や好酸球性肺炎は、さまざまな原因で引き起こされるため、その原因を考えるにあたって、呼吸器VINDICATEは非常に有用です。

JHNのセミナーでは、受講者から好評いただき、呼吸器疾患の奥深さも感じてもらえたようで、興味をもってくれた若手の先生方や開業医の先生方も多かったようです。

「呼吸器VINDICATE」が、みなさんの診療のお役に立てれば嬉しい限りです。

## 悩める研修医 研肉マン と 鶴先生



左表) 実際には「VINDICATE!!!O」つまり「ヴインディケイト!!!+O(オー)」で覚えます。「!」は「I」と見なし、「O」は「Others」で、この項目では、肺胞内に貯留する物質から疾患をイメージできるようになっています。VINDICATEの元は、メディカル・サイエンス・インターナショナルから出版されている「コリンズのVINDICATE鑑別診断法」になります。ご興味がある方は、そちらもご参考ください。

上図) 日常臨床で「VINDICATE」による鑑別が役に立ったケースを漫画にしました。このケースでは、なぜ肺胞出血を来したのかも考えなければならず(特に血管炎や薬剤性、悪性腫瘍など)、その原因を考える際に「VINDICATE」は有用です。

V	Vascular	出血、塞栓・梗塞、奇形
I	Infection	細菌・ウイルス・抗酸菌・真菌・寄生虫
N	Neoplasm	原発、転移(癌、肉腫、血液系)
D	Degenerative	
I	Intoxication / Inhalation	薬剤、輸血 吸入曝露(喫煙、粉塵、化学物質など)
C	Congenital	奇形、発育異常
A	Autoimmune	膠原病、血管炎、炎症性腸疾患など
T	Trauma	挫傷
E	Edema	心原性、非心原性(ARDSなど)
!	Iatrogenic	放射線
!	Idiopathic	特発性
!	Inheritance	遺伝性
O	Others	肉芽腫、好酸球、脂質(肺胞蛋白症) カルシウム、蛋白(アミロイド、軽鎖など)



大崎 敏弘  
呼吸器病センター長  
呼吸器外科部長

飯塚病院呼吸器病センター呼吸器外科の大崎です。私は平成19年に飯塚病院に赴任しました。今年で10年になりますので、これまでの呼吸器外科の歩みを少しだけ紹介させていただきます。

「もう少しで300」これは何の数字かというと、昨年の呼吸器外科手術数が299件であったということです。もう少しで300件の大台に乗るところでした。この10年間で右下の図に示すように毎年少しずつですが全手術数、肺癌手術数ともに増加してきました。肺癌は九州でもベスト5に入るようになりました。多くの患者さんをご紹介いただいている地域の先生方に、この場をお借りして感謝申し上げます。

10年前に赴任した時は呼吸器外科医は私一人でした。手術の時は外科の研修医に手伝ってもらいながら、全ての患者さんの主治医で執刀医でした。現在、後期研修医2名を含め呼吸器外科専門医4名の計6名のスタッフが、手術を中心とした診療に従事できるようになりました。

他の外科領域と同様に呼吸器外科でも低侵襲化が進んでいます。当科でも平成21年より完全胸腔鏡手術を開始、昨年は81%が完全胸腔鏡手術でした。

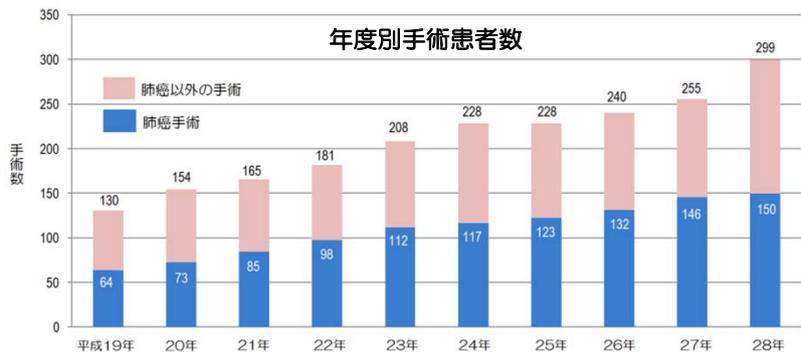
平成25年10月に最適・最新の医療を迅速・効率的に提供することを目的に呼吸器内科と一緒に呼吸器病センターを立ち上げました。呼吸器内科（腫瘍内科）、呼吸器外科（腫瘍外科）、放射線治療科等によるさまざまな合同カンファレンスにより、患者さん一人ひとりにあった最も適切な治療を提供しています。引き続き患者さんのため「Patient First」の治療を進めていく所存です。

臨床と平行して学術活動にも積極的に取り組みました。この10年間で論文20編（うち研修医10編）、学会発表202題（研修医70題）を行っています。学術活動は、研修医の教育に加えて私たちの学問的探究心とモチ

ベーション維持のためにも大切と思っています。

地域連携にも広報室、地域連携室の協力の下に取り組んできました。現在まで113医療機関を訪問、さまざまなご意見を直接拝聴し、参考にさせていただいています。また情報交換の場として「筑豊呼吸器RENKEIの会」を平成26年より年3回開催、情報発信の場としてこの広報誌「いき息、いづか」を平成28年より年3回発行しています。

これからも筑豊地域における呼吸器疾患の基幹病院として、患者さんご家族が「この病院に来て良かった」と思える病院、呼吸器病センターに発展させたいと思います。これからも、よろしくお願いいたします。



## コラム～わたしの趣味～

この欄では、呼吸器病センターに所属するメンバーのプライベートな一面を紹介すべく、自身の趣味について語っていただきます。第3回は、待っていました！我が呼吸器病センターの誇る呼吸器内科部長の飛野先生。先生の趣味の1つをご紹介します。

私の趣味は、ソルトウォーターフィッシング（ショア）です。要は海でのルアー釣りで、船ではなく岸から釣る事をこう呼びます。出張がない土曜日の夜から日曜日の朝までが趣味の時間です。船に乗らない理由はこの時間しか釣りができないからです…北九州の岡垣～遠賀川河口～若松～門司から、下関～油谷湾までの山口県山陰側が私のテリトリーです。魚種が豊富なエリアで、季節ごとに釣れる魚が変わります。

春：スズキ、サワラ、ヤス・ハマチ（プリの子）、アオリイカ、マダイ、クロダイ、キジハタ、アラ、アジ、メバル、カサゴ。夏：スズキ、サワラ、ヒラメ、アオリイカ、クロダイ、キジハタ、アラ、タチウオ、カマス、アジ、メバル、カサゴ、ハゼ。秋：スズキ、サワラ、ヒラメ、ヤス・ハマチ（プリの子）、ヒラマサ、ネリゴ（カンパチの子）、アオリイカ、マダイ、クロダイ、カマス、アジ、メバル、カサゴ、ハゼ。冬：スズキ、サワラ、ヒラメ、プリ、ヒラマサ、ヤリイカ、ヒイカ、アジ、メバル、カサゴ

この中で唯一釣った事のない魚は秋～冬のヒラマサで、他はすべてルアーで釣りました。ルアーに飽きたら、投げ釣りでカレイ、キス、アナゴ、カワハギなども楽しめます。4年前から始めたのですが、徐々に本格的になり今では荒れ狂う真冬の角島北端（山口県）や、大波にさらわれて死人が時々出ること有名な川尻岬（山口県）などにも進出するようになりました。良い所は、①絶景を見られる（朝夕は最高です）、②頭と体をフルに使う（自然の摂理を読むのは難しくも楽しい、雑事を忘れられる、大自然の猛威にさらされて風邪を引きにくくなり腰痛も改善した）、③見知らぬ人と仲良くなる、④魚がおいしい（捌けるようになる）、などです。ただここ最近は3ヶ月に1～2回くらいしか釣りに行けておらず、妄想ばかりが膨らんでいます…。角島でマグロが釣れたこともあるそうで、それを夢見て悶々と過ごす日々です。

## 呼吸器内科 飛野 和則



角島のスズキ、ヒラメ (75cm)

角島のヒラメ (75cm)



冬の角島

## 外来担当表

※ 紹介状の宛先は【呼吸器病センター】、【呼吸器内科】、【呼吸器外科】いずれでも構いません。  
 ※ 内科、外科どちらか迷う場合は【呼吸器病センター】宛にご紹介ください。○：初診 ●：再診

内科 医師	月	火	水	木	金	外科 医師	月	火	水	木	金
海老 規之	○/●	○	○	○/●	○	大崎 敏弘	○/●				○/●
飛野 和則		○/●	○/●		○/●	小舘 満太郎			○/●		
宮嶋 宏之				○/● (第2・4週)	○/●	宗 知子				○/●	
霧野 広介	○/●					安田 学		○/●			
井手 ひろみ	○/●	○/●				小山 倫太郎				○/●	
浅地 美奈		○/●				日本呼吸器学会呼吸器専門医3名、日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医4名、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医2名、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医1名					
神 幸希				○/●		呼吸器内科 専門外来のお知らせ					
吉松 由貴			○/●			呼吸器内科では、喘息、COPD、間質性肺炎の患者さんを対象に、専門外来を始めました。これらの疾患の病勢評価、治療薬の調整などを検討される患者さんがいらっしゃるようでしたら、ぜひ呼吸器内科外来へご紹介ください（呼吸器内科外来をご紹介いただいた後、各専門外来へ振り分けます）。					
西澤 早織		○/●	○/●			<b>平成28年9月～平成29年2月の主な学会発表</b>					
吉峯 晃平					○/●	<b>第69回 日本胸部外科学会定期学術集会</b> （9/28～10/1、岡山）					
棟近 幸					○/●	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急搬送・入院となった胸部外傷症例の検討-救急外傷診療における呼吸器外科の役割-（西澤 夏将）</li> <li>間質性肺炎合併肺癌の術後急性増悪と術式の検討-リスクスコアを用いて-（金山 雅俊）</li> </ul>					
未安 巧人				○/●		<b>第57回 日本肺癌学会学術集会</b> （12/19～21、福岡）					
村上 行人				○/●		<ul style="list-style-type: none"> <li>CT/PET-CTによる肺癌の術前縦隔リンパ節転移評価と病理学的診断の必要性（金山 雅俊）</li> <li>II～III期非小細胞肺癌に対するCisplatin+Vinorelbine併用による術後補助化学療法の検討（西澤 夏将）</li> <li>当院における肺がん地域連携クリニカルパスの運用状況と課題（中川 誠）</li> <li>肺癌切除症例における術中胸腔内洗浄細胞診の予後因子としての意義（宗 知子）</li> <li>腎癌の肺転移切除症例の検討（小舘 満太郎）</li> <li>Clinical single station N2非小細胞肺癌に対する初回手術成績（大崎 敏弘）</li> </ul>					
後藤 夕輝	○/●					<b>The American College of Chest Physicians</b> （10/22～26, California, USA）					
山本 英彦			●			<ul style="list-style-type: none"> <li>A case of Primary Pulmonary Anaplastic Large Cell Lymphoma（吉峯 晃平）</li> <li>Isolated Congenital Interruption of the Right Interlobar Pulmonary Artery with Unilateral Fibrotic NSIP-like Changes（後藤 夕輝）</li> </ul>					

## 第9回筑豊呼吸器RENKEIの会

日時 平成29年4月18日（火）18:50～20:10

場所 飯塚医師会館 講堂 飯塚市吉原町1-1

TEL 0948-22-0165

報告1 18:50～19:20 | 呼吸器外科より報告

飯塚病院呼吸器病センター呼吸器外科 大崎 敏弘

報告2 19:20～19:50 | 呼吸器内科より報告

飯塚病院呼吸器病センター呼吸器内科 飛野 和則

講演 20:00～20:30 | 肺癌up to date～免疫療法を中心に～

飯塚病院呼吸器病センター呼吸器内科 未定

筑豊呼吸器RENKEIの会は年に3回開催しています。

皆様からご紹介いただいた貴重な症例の報告、また、呼吸器疾患の中でも日常臨床に役立つ身近なテーマを毎回取り上げ、若手の先生にレクチャーをお願いしています。是非、ご参加ください。

いままで取り上げたテーマ

第4回：間質性肺炎、第5回：咳、第6回：肺炎、第7回：誤嚥、第8回：胸部レントゲン写真

ご参加いただける先生は、Meiji Seika ファルマ株式会社

（TEL：093-551-1830）までご一報いただくと幸いです。

### ～編集後記～

このNews letterを作り始めてから3回目、早いもので1年が経過しました。当センターの診療やRENKEIの回の模様を定期的に発信することで、ご紹介いただいた先生方との連携を深める一助となることができたかと感じております。私は3月31日を持ちまして飯塚病院を退職いたしますので、本誌の編集に携われなくなりますが、最後の1年に名誉ある仕事をいただき光栄でした。ご愛読いただき誠にありがとうございました。



西澤 夏将  
呼吸器病センター  
呼吸器外科医師

飯塚病院呼吸器病センターNews letter

いき息、いづか

第3号 2017年4月1日発行

発行 © 飯塚病院 呼吸器病センター

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83

TEL © 0948-22-3800（代表）

URL © http://aih-net.com